

課題

- ・ トリニティアップデート『[トリニティのサービス論《前編・中編・後編》](#)』を読み、その内容を参考にした上で、沖縄県内(あるいは沖縄県外でも可能)のシティホテル、リゾートホテル、レストラン、喫茶店(その他あらゆるサービス業が可能)を利用し、出来るだけ多くのケースを集めて、レポートをまとめる。分量は任意であるが、情熱に見合った量であるべき。
- ・ それぞれのケースについて、あなたがサービスを利用した際の状況と出来事をまとめること。例えば、誰と(あるいは一人で)、いつ(曜日、天候、時間帯など)、どの施設を、どのように(注文状況など) 利用し、どのような出来事が起こったか。その出来事における問題は何か? そのときのサービス担当者の意図・気持ち・考えはどのようなものだったか? そのときのあなたの態度はどのようなものだったか?あるいは、サービス担当者にどのように映っていたらどうか? 何が問題だと考えるか? あなたがそのサービスの経営者だったら、どのように対処(治療)するか?
- ・ レポートの目的は、沖縄におけるサービス業の現場における問題を出来るだけ多く特定し、その内容を分析することである。
- ・ レポートの評価は、内容そのものよりもむしろ、①どれだけ自分の頭で考えたか、②どれだけ真剣に取り組んだか、の形跡を最も重視する。また、③日本語について、読み手の立場に立った文章、論理的な構成、表現の的確さ、読み易さ、語彙力、伝えようとする意識も重要な評価対象である。
- ・ **レポート未提出者は、本単位の取得は不可となる。**
- ・ 提出日は6月30日土曜日。樋口までメール送付のこと。

2012 年 5 月 26 日 掲示